

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公表番号】特表 2004-522544 (P2004-522544A)
 【公表日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-029
 【出願番号】特願 2002-569234 (P2002-569234)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 17/00

A 6 1 B 18/12

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 B 17/39 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 9 月 9 日 (2003.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電源装置と共に使用するための、内部不閉電極デバイスであって、該電源装置は、電力出力コネクタおよび電力リターンコネクタを備え、該内部不閉電極デバイスは、以下：

可撓性シャフトであって、遠位端、遠位部分、近位端、および近位部分を規定する、可撓性シャフト；

少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスであって、該可撓性シャフトの該遠位部分に支持されて、身体内に挿入されるように適合されている、少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイス；ならびに

不閉電極コネクタであって、該少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスに作動可能に接続されており、そして該電力リターンコネクタと嵌合するように適合されている、不閉電極コネクタ、
 を備える、内部不閉電極デバイス。

【請求項 2】

前記可撓性シャフトが、少なくとも 12 インチ (30.5 cm) の長さである、請求項 1 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 3】

前記可撓性シャフトの前記遠位部分が、4 mm 未満の直径を規定する、請求項 1 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスが、電極を備える、請求項 1 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスが、間隔を空けた複数のエネルギー伝達デバイスを備える、請求項 1 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスが、可撓性電極を備える、請求項 1 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 7】

前記シャフトの前記近位端から前記不閉電極コネクタへと延びる、ケーブルをさらに備える、請求項 1 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 8】

前記電力出力コネクタが、第 1 の構成を規定し、前記電力リターンコネクタが、該第 1 の構成とは異なる第 2 の構成を規定し、そして前記不閉電極コネクタが、該第 2 の構成に実質的に対応する構成を規定する、請求項 1 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 9】

前記電力出力コネクタが、第 1 の形状を規定し、前記電力リターンコネクタが、該第 1 の形状とは異なる第 2 の形状を規定し、そして前記不閉電極コネクタが、該第 2 の形状に実質的に対応する形状を規定する、請求項 8 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 10】

前記電力リターンコネクタが、第 1 および第 2 の電力リターンコネクタを備え、前記少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスが、少なくとも第 1 および第 2 のエネルギー伝達デバイスを備え、そして前記不閉電極コネクタが、それぞれ該第 1 および第 2 のエネルギー伝達デバイスに接続された第 1 および第 2 の不閉電極コネクタを備える、請求項 1 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 11】

前記第 1 のエネルギー伝達デバイスが、前記第 1 の不閉電極コネクタに接続された、間隔を空けた複数のエネルギー伝達デバイスを備え、そして前記第 2 のエネルギー伝達デバイスが、前記第 2 の不閉電極コネクタに接続された、間隔を空けた複数のエネルギー伝達デバイスを備える、請求項 10 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 12】

電源装置と共に使用するための、内部不閉電極デバイスであって、該電源装置は、第 1 の構成を規定する電力出力コネクタ、および該第 1 の構成とは異なる第 2 の構成を規定する電力リターンコネクタを備え、該内部不閉電極デバイスが、以下：

可撓性シャフトであって、遠位端、遠位部分、近位端、および近位部分を規定する、可撓性シャフト；

複数の電極であって、該可撓性シャフトの遠位部分に支持されて、身体内に挿入されるように適合されている、複数の電極；ならびに

不閉電極コネクタであって、該複数の電極に作動可能に接続されており、そして該第 2 の構成に実質的に対応する構成を規定する、不閉電極コネクタ、を備える、内部不閉電極デバイス。

【請求項 13】

前記電力リターンコネクタが、第 1 および第 2 の電力リターンコネクタを備え、前記不閉電極コネクタが、第 1 および第 2 の不閉電極コネクタを備え、そして前記複数の電極が、該第 1 の不閉電極コネクタに作動可能に接続された、第 1 の複数の電極、および該第 2 の不閉電極コネクタに作動可能に接続された、第 2 の複数の電極を備える、請求項 12 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 14】

前記電力出力コネクタが、第 1 の形状を規定し、前記電力リターンコネクタが、該第 1 の形状とは異なる第 2 の形状を規定し、そして前記不閉電極コネクタが、該第 2 の形状に実質的に対応する形状を規定する、請求項 12 に記載の内部不閉電極デバイス。

【請求項 15】

システムであって、以下：

電源装置であって、電力出力コネクタおよび電力リターンコネクタを備える、電源装置；ならびに

内部不閉電極デバイスであって、以下：

可撓性シャフトであって、遠位端、遠位部分、近位端、および近位部分を規定する、可撓性シャフト；

少なくとも1つのエネルギー伝達デバイスであって、該可撓性シャフトの該遠位部分に支持されて、身体内に挿入されるように適合されている、少なくとも1つのエネルギー伝達デバイス；および

不閉電極コネクタであって、該少なくとも1つのエネルギー伝達デバイスに作動可能に接続されており、そして該電力リターンコネクタと嵌合するように適合されている、不閉電極コネクタ、

を備える、内部不閉電極デバイス、
を備える、システム。

【請求項16】

前記可撓性シャフトが、少なくとも12インチ(30.5cm)の長さである、請求項15に記載のシステム。

【請求項17】

前記可撓性シャフトの前記遠位部分が、4mm未満の直径を規定する、請求項15に記載のシステム。

【請求項18】

前記少なくとも1つのエネルギー伝達デバイスが、電極を備える、請求項15に記載のシステム。

【請求項19】

前記少なくとも1つのエネルギー伝達デバイスが、間隔を空けた複数のエネルギー伝達デバイスを備える、請求項15に記載のシステム。

【請求項20】

前記少なくとも1つのエネルギー伝達デバイスが、可撓性電極を備える、請求項15に記載のシステム。

【請求項21】

前記シャフトの前記近位端から前記不閉電極コネクタへと延びる、ケーブルをさらに備える、請求項15に記載のシステム。

【請求項22】

前記電力出力コネクタが、第1の構成を規定し、前記電力リターンコネクタが、該第1の構成とは異なる第2の構成を規定し、そして前記不閉電極コネクタが、該第2の構成に実質的に対応する構成を規定する、請求項15に記載のシステム。

【請求項23】

前記電力出力コネクタが、第1の形状を規定し、前記電力リターンコネクタが、該第1の形状とは異なる第2の形状を規定し、そして前記不閉電極コネクタが、該第2の形状に実質的に対応する形状を規定する、請求項22に記載のシステム。

【請求項24】

前記電力リターンコネクタが、第1および第2の電力リターンコネクタを備え、前記少なくとも1つのエネルギー伝達デバイスが、少なくとも第1および第2のエネルギー伝達デバイスを備え、そして前記不閉電極コネクタが、それぞれ該第1および第2のエネルギー伝達デバイスに接続された第1および第2の不閉電極コネクタを備える、請求項15に記載のシステム。

【請求項25】

前記第1のエネルギー伝達デバイスが、前記第1の不閉電極コネクタに接続された、間隔を空けた複数のエネルギー伝達デバイスを備え、そして前記第2のエネルギー伝達デバイスが、前記第2の不閉電極コネクタに接続された、間隔を空けた複数のエネルギー伝達デバイスを備える、請求項24に記載のシステム。

【請求項26】

請求項15に記載のシステムであって、さらに、以下：

電気生理学的デバイスであって、少なくとも1つのエネルギー伝達デバイス、および該少なくとも1つのエネルギー伝達デバイスに作動可能に接続された電気生理学的デバイスコネクタを備え、そして前記電力出力コネクタと嵌合するように適合されている、電気生

理学的デバイス、
を備える、システム。

【請求項 27】

前記電気生理学的デバイスが、外科プローブを備える、請求項 26 に記載のシステム。

【請求項 28】

電源装置と共に使用するための電気生理学的手順キットであって、該電源装置は、電力出力コネクタおよび電力リターンコネクタを備え、該電気生理学的手順キットは、以下：

該電力リターンコネクタに接続されるように適合されている、内部不関電極デバイス；
および

該電力出力コネクタに接続されるように適合されている、電気生理学的设备、
を備える、電気生理学的手順キット。

【請求項 29】

前記内部不関電極デバイスが、可撓性シャフトおよび少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスを備え、該可撓性シャフトが、遠位端、遠位部分、近位端、および近位部分を規定しており、そして該少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスが、該可撓性シャフトの該遠位部分に支持されて身体内に挿入されるように適合されている、請求項 28 に記載の電気生理学的手順キット。

【請求項 30】

前記少なくとも 1 つのエネルギー伝達デバイスが、複数の電極を備える、請求項 29 に記載の電気生理学的手順キット。

【請求項 31】

前記電気生理学的设备が、外科プローブを備える、請求項 28 に記載の電気生理学的手順キット。

【請求項 32】

前記内部不関電極デバイスが、第 1 の構成を規定するコネクタを備え、そして前記電気生理学的设备が、該第 1 の構成とは異なる第 2 の構成を規定するコネクタを備える、請求項 28 に記載の電気生理学的手順キット。

【請求項 33】

前記内部不関電極デバイスコネクタが、第 1 の形状を規定し、そして前記電気生理学的设备コネクタが、該第 1 の形状とは異なる第 2 の形状を規定する、請求項 32 に記載の電気生理学的手順キット。

【請求項 34】

請求項 28 に記載の、電気生理学的手順キットであって、さらに、以下：

滅菌可能なパッケージであって、前記内部不関電極デバイスおよび前記電気生理学的设备を収容する、滅菌可能なパッケージ、
を備える、電気生理学的手順キット。